

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻(昼間主コース)

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

第二次世界大戦終結からちょうど70年になる今年は、歴史を振り返る良い機会になると思われます。歴史家のE. H. カーは、「歴史とは現在と過去との対話である」という有名な言葉を残しています。あなたは、現代のグローバルな社会において、過去をどのようにとらえ過去の歴史を現在にどのように活かすべきだと考えますか。具体例を挙げながら、1000字以上、1200字以内の日本語で論じなさい。

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻(昼間主コース)

出題の意図

国際言語文化学科英語文化専攻は、アドミッションポリシーとして、英語を中心とする言語、文化、歴史に強い関心と学習意欲を有し、異なる文化と自己の文化に対する多面的な理解と、あらゆる物事を地球的視野で考える力の獲得へ向けて、主体的・積極的な学習ができる人材を求めている。したがって、この小論文は、受験生が国際社会の動向に意識を向け、国内外で起こっていることに対し、その根底にある文化的・社会的・歴史的背景を踏まえ、幅広い視野と見識で自分なりの解釈ができるか、また、提示された問題を議論する論理力・表現力を有しているかどうかを見ようとするものである。